

取材先	林伊佐緒偲ぶ会		
企画名	車椅子・慶祝金 贈呈式		
備考			
取材日	2019年5月28日(火)天候[晴れ] [ 12:30~13:00 ]	取材地	下関病院付属地域診療クリニック

レポート

林伊佐緒偲ぶ会は、設立より8年を迎えようとしています。顕彰コンサートを度々開催しており、その収益金やご遺族からの寄付金を「林伊佐緒福祉基金」を通じ、この度、下関病院付属地域診療クリニックへ「車椅子」と下関病院運営の認知症カフェ『ららカフェ』へ運営費として「慶祝金」を寄付しました。「林伊佐緒福祉基金」からは今回で4回目となります。

水木理事長は「ららカフェは認知症患者の入り口、ネットワーク作りなど当院を地域貢献に役立てたい」と話されました。

『ららカフェ』は、下関病院付属地域診療クリニック 1階食堂で、毎月1回定期的に開催しています。認知症の人やそのご家族、地域の方や専門職の人など、子どもから大人までどなたでも利用できるカフェです。

山根徹代表は、「以前、ららカフェに参加させていただいた、地域医療発展のため役立てていただきたい」と話されました。この日のため、東京の遺族より勲四等の勲章等が貸し出され、寄贈の場に置かれました。歌手で勲4等の勲章をいただいた人は数少ないそうです。

下関市王喜出身の林伊佐緒は「ダンスパーティーの夜」や「もしも月給が上がったら」などのヒット曲があり日本歌手協会の会長も務め、下関市内の学校校歌も作っています。平成24年には生誕100年を迎えています。

偲ぶ会は、チャリティーコンサートやレコードコンサート、写真展、遺品展、施設慰問など広く活動しています。ご遺族は、林伊佐緒を顕彰する活動を喜んでいらっしゃるそうです。コンサートなどに参加し、声を出して一緒に歌い、思い出話を楽しんでみませんか。

状況写真

